2015 年 2 月

NPO法人　学習塾全国連合協議会　東日本ブロック

塾全協東通信

題字：伶齋（白川亮　進ゼミ柏）

NPO 塾全協 東日本ブロック 埼玉支部主催
2014 年度 経営研修会　レポート

日時　：2015 年 1 月 9 日（金）　11:00～13:30

場所　：西沢塾（川越市）

テーマ：「最近発展が目覚しい中小塾」について

講師　：小林弘典氏(PS・コンサルティング・システム代表)

文と写真：NPO 塾全協東日本ブロック事務局長 中山和行

12 月に東京支部でお招きした小林先生を埼玉でもお願いしました。テーマは「最近発展が目覚しい中小塾」について、その塾が「おこなっていること」です。

埼玉支部のメンバーの他、飯能の塾の塾長さんとスタッフの方がゲストとして参加しました。

総勢 10 名の研修会でした。小林先生のお話のポイントを列挙すると

① 成功した原因はいろんな要素ではっきりしないが失敗の原因は明らかである。

② 勢い、ムードを創造する。⇒教室をわざと狭くするとか、毎回ハイタッチをするとか

③ 無料体験・各講習での継続率が 6 割を切っていれば何か問題があるはず。

④ 塾の構成学年は田舎は垂直方向（小学生から高校生）都会は水平方向（ターゲットを絞る）が原則

⑤ 口コミは保護者、ここ 10 年顕著になってきた。親が塾世代・高学歴化しているのが理由

⑥ 若い先生は一生懸命さをアピールできれば、それ以外の事はよけいなこと。上から目線は絶対ダメ。

⑦ 中受生以外、宿題を多めに出すのは禁じ手。⇒親の負担が大きくなるのは望んでいない。多く出すならば、宿題をやるために塾に来さす。宿題をやる日を決めて電話で本人に塾講師が直接指示する。

⑧ 否定的な内容のチラシは良くない。肯定的な言葉に変える。
勉強が大変→勉強はわかれば楽しい　　頑張らないと受験に失敗する→勉強すれば合格する

⑨ チラシは塾のイメージがわかるような写真をいれる。

⑩ チラシでどの学年が来てほしいのか、どの学力層が来てほしいのかがわかるように作成する。

などなど自塾の経営ヒントになる盛りだくさんの内容でした。

小林先生お忙しい中ありがとうございました。

また、よろしくお願い致します。

NPO 塾全協 東日本ブロック 2014 年度第 3 回英語合宿レポート

日時：2014 年 12 月 30 日（火）～31 日（水）

場所：ブリティッシュヒルズ　（福島県 新白河）

参加者：6 名

文と写真：NPO 塾全協　全国事務局長･東日本ブロック広報局長　中村基和

2014 年度 3 回目のブリティッシュ･ヒルズ、今回は英検 3 級以上、中 3 と高 3 は受験直前のため誘わないという制約の上、12 月 30 日、31 日という日程や冬期講習との兼ね合いのもあったため参加者は 6 名だけでしたが、3 級 2 名、準 2 級 3 名、2 級 1 名という粒ぞろいのため、レッスンも高度な事が期待されました。

現地に着いてからまずは中央のマナーハウスでチェックイン。May I check in, please?　チェックインの次はオリエンテーション。（写真左上）オリエンテーションが終わったあとは OWN MEETING で、英語で各自に自己紹介をして貰いました。それから各自の部屋に行き、用意してあったマントを着て外に出ました。既に雪合戦モードです。（写真右上）最初のレッスンまで時間がありましたので図書室や王様のベッドなどマナーハウス内の見学をしました。

午後 4 時から最初のレッスン。（写真上）“Manners of performing arts” というテーマでしたが、何とこれは前の月の全国研修大会の第 2 部「ネイティブによる実例研修」でブリティッシュ･ヒルズの講師の方が講演した Multimodal という 3D 的な学習法で、動き（ジェスチャー）を混ぜた教育法でした。例えば “How are you?” と訊かれたとき、答えは “I’m fine, thank you.” だけとは限りません。先生が生徒たちに I’m のあとに来る言葉を言わせます。hungry、glad、cold と色々出ました。中でも面白かったのが angry と言うべきところを ugly と言ってしまったことです。日本人にありがちなことです

が、これには皆爆笑でした。(爆笑するというところが今回のレベルの高さを物語っていますが) そのあとジェスチャーで例えば“I'm sad.”を表現させました。単語と emotion を結びつけさせるレッスンでしょうか。また、“The monkey has my banana.”という文をジェスチャーをつけながら表現させるレッスンもありました。同じ文でも表現の仕方によって色々な意味が出てくるということでしょうね。あと、“What animal do you like ?”と訊かれて全員が“I like dog.”などと単数形で答えていました。先生は“I like dog.”と言ったら、それは犬を食べることだよとジェスチャーを混ぜて話しました。生徒達が最後のミーティングで口を揃えて「役に立った」と言っていました。(私は中 1 で習ったんですけどねぇ。この子たちが知らないなら他の生徒達はもっと知らないでしょうね。)

レッスンのあと自由時間でそのあとは夕食。前回は全部 Refectory というハリーポッター風の大食堂で食事をしたのですが、今回は夕食だけ円形の Dinning Hall でした。夕食が終わると外国人講師との対話タイム。豪華なソファに座ってリラックスした雰囲気で自由に会話が出来ます。生徒達は英会話を楽しんでいました。

その後は着床までフリータイム。冬場だけ木々がライトアップされています。クリスマスでなくても良いものです。雪の降る白河の海抜 1,000m の地点は確かに寒いのですが、例のマントを着ているとかなり凌げます。生徒達も夜景を楽しんでいました。(写真左下) 私はブリティッシュ・ヒルズの夜景を撮ろうと宿舎から少しだけ出て写真を 10 枚くらい撮りました。あとで見たらびっくり。偶然ですが「芸術的作品」が撮れました。(写真右下) 雪の粒が惑星の様に見えて、さながら宇宙 SF と言ったところです。

翌朝はハリーポッター食堂こと Refectory で朝食をとり、チェックアウトを済ませてからスコーン作成のレッスン。2 度目の生徒達もこれを楽しみにしていたようです。そのあとマナーハウスに戻ってから閉会セレモニー。と、言っても前回と違って今回は 6 人だけでしたので、一人一人に感想を聞いてみました。8 月の時に都合で行けなかったので今回は是非とも行きたかったという生徒が 2 人いました。インストラクターの英語が聞き取れたかと訊くと全員 Yes。流石全員 3 級以上です。そして皆良かったと口を揃えて言って鋳ました、そして何か役にたったことがあるかかと尋ねると、前述のとおり、“I like dog.”ではなく、“I like dogs.”が正しいことを知ったことだったと全員が言っていました。

スコーンが焼き上がってからしばしフリータイム。前回参加した生徒 2 人は一番人気のあった講師の R 先生に偶然再会して大喜び。また、私は見ていませんでしたが、高 1 の 3 人の女子が雪合戦でデスマッチ模様だったとか。シェイクスピアの銅像に雪を投げつける不謹慎な生徒もいて、「駄目だよ。罰があたるよ！」

再び Refectory で昼食をとってから記念写真を撮ったあと送迎のバスに乗りました。新白河駅まで 1 時間くらいの行程ですが、それでも車酔いする生徒がいて、やはり新幹線で新白河集合、解散で良かったと感じました。

さて、次回はいつどうなるのかまだわかりませんが、是非とも続けていただきたいイベントです。

NPO 塾全協 西日本ブロック 拡大理事会･忘年会 レポート

日時：2014 年 12 月 14 日（日）～15 日（月）

場所：京都府亀岡市　烟河（けぶりかわ）

参加者数：14 名

文と写真：中村基和

亀岡という場所を訪れるのは初めですが、どうせ行くなら理事会が始まる前に訪れるところがないかとネットで検索したところ、まず、明智光秀の城、亀岡城があったところでした。そして嵯峨野観光鉄道という観光専門のトロッコ鉄道という鉄道が亀岡–嵯峨間を走っていて、終点には日本最大級の鉄道ジオラマがあるのです。鉄道ファンの私にはたまらない場所です。保津川の渓谷にそって走る列車からはまさに絶景を鑑賞することができました。

本題に戻って、午後 5 時から拡大理事会が行われました。主とし 2015 年度の全国研修大会についてのことでした。今年（2015 年）の全国研修大会は西日本ブロックの担当で、場所は神戸。日時は 11 月 1 日（日）に決まりました。通常は毎年 11 月 3 日が全国研修大会の日なのですが、講師が大学の先生で、今の大学は祝日も授業を行っている関係上、日曜日である 11 月 1 日になりました。テーマは「英語教育」で講師は関西外語大学教授 中嶋洋一氏です。私は東日本ブロックの代表として出席して、2014 年度の活動報告と年末のブリティッシュ･ヒルズ合宿について話しました。西日本ブロックの皆さんもブリティッシュ･ヒルズにはかなりの関心を持っておられました。また英語版の塾･学校用の数学問題集の見本をお見せしたところ、やはり皆さん興味津津のようでした。

トロッコ亀岡鉄道からの車窓

拡大理事会の様子

6 時半からは忘年会。今回は東日本ブロックからは私の他、土樋先生（伸孝学園 東京練馬区）が飛び入り参加。12 月 14 日は赤穂浪士討ち入りの日なので、後田多会長にこっそりと乾杯の音頭は、「各々方」で始めてくれるようにお願いしたところ快諾して貰えました。会長の「各々方」は中々決まっていました。西日本の先生方は関東では味わえないノリ、雰囲気があり、それと接することを私も土樋先生も楽しみの一つにしていました。塾で英語の落語･漫才を教えている先生もおられましたが、関東では考えられない！

忘年会、二次会と大いに盛り上がりましたが、やはりブリティッシュ･ヒルズへの関心は高く、中には個人的に 1 週間滞在したいという先生さえもおられました。

私がこの会に参加させて貰うのは去年に続いて 2 回目。東西の交流、親睦、そして情報交換という意味でとても良い経験をさせて貰いました。次回も是非とも参加させていただきたいと思っています。

帰路、京都の哲学の道で遭遇した猫君

理事会議事録　　［敬称略］

議長　沼田、記録　中　山

日時：平成27年1月14日（水）　　午前10時30分～午後12時30分

場所：池袋ルノアール　第１会議室

出席：沼田（理事長）、内藤（副理事長・研修局長）、稲葉（副理事長・進学対策局長）中村（全国事務局長・広報局長）、斎藤（事業局長）、山本（財務局長）、星野（千葉支部長）菅原(東京支部長)、望月（埼玉支部長）、星野（理事）、中山（事務局長）　以上12名の出席

審議、報告事項　（敬称略）**詳しくは会員向けに発送した「東通信」をご覧下さい。**

【理事長挨拶】

昨年はブリティッシュヒルズの24時間英語合宿を塾全協の一つの柱にしようと動いた。今年はさらにそれを発展させていきたい。本年も各行事に対して役員の皆さんの協力をお願いしたい。本日は5月の総会、中高入試を考える会、懇親会、ブリティッシュヒルズの12月末におこなった合宿の報告、次年度の合宿の日程について、また各局、各支部からの報告、連絡事項が主な議題である。

【連絡事項】

①定款上の塾全協の住所が菅原先生の塾になっているので中村先生の所に変更する。

②菅原東京支部長を理事長・副理事長不在のときに理事長代理として動いてもらう。

③日本民間教育大賞の協賛金（1口33000円）の依頼がきている。

【ブリティッシュヒルズ】

12/30～31の第3回24時間英語合宿を実施した

今回は英検3級～2級取得者が6名参加した。ハイレベルなレッスンができた。

全員が満足した様子だった。

次年度の計画　　①　5月3日～5日　　2泊3日　小４～高３

②　8月11日・12日　　1泊2日

③　12月31日・1月1日

ソロモン総合学院（内藤副理事長）で3月に卒業旅行を計画している。

ブリティッシュヒルズのプロジェクトチームを立ち上げる。

メンバー　　沼田・中村・望月・中山

【日程関係】

5/24（日）西日本ブロック総会

5/31（日）全国総会・全国常任理事会・東日本ブロック総会

中高入試を考える会・私学と私塾の新年度情報交換会

講演者　　五十嵐裕明氏（進研営業部次長）

穴澤嘉彦氏　（新教育研究協会営業部次長）

森上展安氏　（森上教育研究所所長）

岩佐圭一氏　（岩佐教育研究所代表）

【進学相談会】大学進学相談会⇒前回報告同様

【財務局】別紙にて各イベントの収支状況の報告

経費を削減していきたい。前回提案したことを実行したい。

【広報局】ホームページで告知したいので各支部で行われる支部会・研修会を広報まで連絡いただきたい。

塾全協新聞は3月15日あたりに発行する。

【事務局】　理事会の場所の予約・理事会メンバーに案内

今後、出欠確認は欠席される場合のみ、連絡を受ける方式にする。

【東京支部】新年度に向けてのミニ研修会を今年度中に開催したいと考えている。

【千葉支部】1月に進研塾内模試を実施（会員塾は割引価格で受験できる）

2月17日に入試直前の動向についての研修会を実施する。

担当　五十嵐裕明氏

【埼玉支部】1/9に支部会として小林先生を講師として研修会を開いた。

テーマは「今、伸びている塾はここがちがう」

次回理事会は　平成27年2月18日（水）午前10時30分～午後12時30分

場所：　ルノアール池袋パルコ横店　第２会議室

編集 NPO塾全協東日本ブロック 事務局長　中山和行
〒350-0322埼玉県比企郡鳩山町今宿229番地
TEL 049-296-1111　FAX　049-296-1111　　E-mail　gyqbt650@ybb.ne.jp
NPO塾全協東日本ブロックHP　http://www.jzk-east.com